



一人一台端末を使って学習しています

今や、社会のあらゆる場面で ICT の活用が日常のものとなっており、これからの時代を生きる児童生徒たちにとって、パソコンやタブレット端末は便利なツールとして必要不可欠なものとなってきています。

本校では、アプリを利用して学習する、活動の順番や終わりを確認する、クラスでの係活動でタブレットを利用するなど、一人一人の実態や課題に応じて活用しています。感覚的に操作ができ、その結果が視覚・聴覚を通じてフィードバックされ、子どもの主体的な学びを引き出すことにもつながっているように思います。それぞれの部門での様子をご紹介します。

A部の学習の様子

A部門では、朝の会や係活動、グループ学習など、多くの場面でタブレットを活用しています。スイッチやその他機器とつなげるなど、操作がしやすいように工夫をしながら、活動の目的に応じたアプリを使っています。

A小 順番に児童が前に出て実際に絵を動かしてマッチングするときに、自席でもタブレット型端末を使ってマッチングしています。タップしようとする指先だけで操作できるように、手袋を使うこともあります。



A中 伝えたいことが、はっきりした音声で友達や相手に伝わるように、タブレット型端末を使っています。朝の会では、その日の天気をイラストの中から選んで発表しています。「選択」「決定」という2個のアクセシビリティスイッチを使うことで、自分の意図に合ったイラストを確実に選ぶことができ、自信をもって活動することができています。

A高 伝えたいことを音声言語で表すことが難しい生徒が、「しゃべるんです」というアプリを使って教師とやりとりしながら学習しています。休み時間には、「オセロがしたいです。」と自ら友達を誘うなど、いろいろな場面で活用しています。



B部の学習の様子

B部門では、学年やグループでの教科等での学習で、タブレットを活用して、一人一人が興味を持って学習をしたり、友達同士で学び合いができたりするように工夫しています。活用の様子を一部ですが紹介します。

【B小】 ことば・かずの授業で、算数科(数の多少)の学習を行った一場面です。動物と果物の数について、同じか違うかを比較するために、線を引ながら確認をしました。自分で線を引く操作することで同じか違うかをしっかりと比べることができました。



【B中】 教科別学習の授業で、数学科(時間の単位)の学習を行った一場面です。朝の会や給食の図を一人ずつ午前・午後に振り分けることができました。自分で操作をしたり結果がすぐに分かったりすることで意欲的に学習できています。



【B高】 生活学習の授業で、自分が関心のある身のまわりの公共施設についての調べ学習を行った一場面です。プレゼンテーションソフトのスライドを自分で作成し、一人ずつが友達に向けて、提示しながら分かりやすく説明をし、感想や意見を共有することができました。



「中国・四国地区肢体不自由特別支援学校PTA・校長会合同研究会」で本校PTA活動を発表しました

6月2日(金)に、「子どもたちの笑顔と社会参加につながるPTA活動」と題して、PTA役員の方がこれまでの活動内容について発表されました。この発表に向けて、執行部を中心に昨年度から準備をし、練習を重ねてこられました。当日の参加者からは、「コロナ禍でも工夫したPTA活動ができていて素晴らしいです。東支援PTAの温かさを感じました」という感想をいただきました。大変お世話になりました。7月30日(日)には、全国大会(栃木大会)でも発表されます。



学校の様子を配信しています。
HP: <https://www.higasisien.okayama-c.ed.jp/>



Facebook

